

## 第15回船橋市地域公共交通活性化協議会 会議録

日 時：平成24年1月27日（水）

10:00～11:00

場 所：船橋市役所 9階

第1会議室

出席者：別添名簿参照

	0. 事務連絡 (配布資料の確認など)
	1. 開 会
議 長	2. 報 告 それでは報告事項といたしまして、実証実験の実施状況について事務局からお願いいたします。
事務局長	<事務局より説明(八木が谷地区)>
議 長	何かご質問や意見はございませんでしょうか
委 員	<なし>
議 長	よろしいでしょうか。では次は丸山地区について事務局からお願いいたします。
事務局長	<事務局より説明(丸山地区)>
議 長	丸山地区の報告について、何かご意見ご質問はありますでしょうか。
委 員	<なし>
議 長	よろしいでしょうか。では続きまして田喜野井地区について事務局からお願いいたします。
事務局長	<事務局より説明(田喜野井地区)>
議長	田喜野井地区の報告について何かご意見ご質問はありますでしょうか。
委 員	予備車の問題について、進行具合はどういうふうになっていますか。

事務局長	事業者の京成バスさんに準備していただいているのですけれども、間もなくということでもよろしいでしょうか。
委員 (京成バス)	<p>予備車両につきましては発注してございますが、東日本大震災の影響でメーカーの生産ラインがかなり影響を受けておまして少し時間がかかっております。大変申し訳ございません。</p> <p>2月の中旬、残念ながら2月12日の法定点検の運休日には間に合わないのですが、2月中旬に供用開始予定ということで現在準備を進めておりますので、もう少しお待ちいただけますでしょうか。</p>
議長	ありがとうございました。他に何かご意見はありますでしょうか。
委員	今回報告のあったこの実績は路線定期運行のものなのですが、オンデマンドの関係の情報は何かないでしょうか。たとえば松が丘、新高根。一部接続点を増加する検討等を行われているということもあったわけですけども、それも含めて、これとは直接関係ありませんけれどもあれば教えていただきたいです。
議長	オンデマンドについては次の議題ですのもう少しお待ちください。他に何かご意見ございますでしょうか。
委員	<なし>
議長	デマンドの前にバスの各地区の月別の推移について報告がありますので事務局からお願いします。
事務局長	<事務局から説明>
議長	ただ今の月別の推移について、なにかご意見ご質問はありますでしょうか。
委員	<なし>
議長	よろしいでしょうか。それでは乗り合いタクシーについての報告をお願いします。
事務局長	<事務局より説明>
議長	ただ今の乗り合いタクシーの件について何かご意見ご質問はありますでしょうか。
委員	問題点というほどではないし数からすればそう多い声ではないのですが、今、配車の余裕がないという対応をされたというのを伺っているのですが、そんな声は事

	務局のほうには入っていないでしょうか。
議 長	事務局で何か把握されていることはありますか。
事務局長	予約につきましてですが、予約が取りにくいというほどのことではありませんが、すべての予約に対応できないというような状況になっているということは連絡を受けているところでございます。ただ、この予約のシステムを導入した時にご説明を差し上げているかと思いますが、乗り合いを前提とするところもございしますが、すべての予約に対応できないものであります。すべての予約に対応できるものであると、それはかえって既存のタクシー事業者さんの事業に影響を与えてしまうということがありまして、当初から100%予約成立ということは見込めないシステムであるという形で考えていただければと思っております。なお、その予約が取りやすくなるような方法につきましては、東京大学と協議をさせていただいているところでございます。
議 長	他に何かご意見ご質問はありますでしょうか。
委 員	<なし>
議 長	よろしいでしょうか。それではその次でございしますが、事務的な話ではございますが、国に報告する事後評価案について事務局から説明があります。
事務局長	<事務局から説明>
議 長	事後評価の案でございしますが、この件に関しまして何かご意見ご質問はありますでしょうか。
委 員	<なし>
議 長	よろしいでしょうか。それではこの事後評価を提出させていただきたいと思 います。 また、提出後でございますが関東運輸局のほうから修正を求められることも あると思いますので、もしそのようなことがあれば、修正のほうは会長である 私にご一任をいただければと思っております。 それでは本協議会としてお諮りをいたしますが、この事後評価案についてご 異議ないということでよろしいでしょうか。
委 員	<異議なし>
議 長	ではこの案の形で提出させていただきます。

議 長	<p>次の議題の議事に入ります。          その他仕組み作りにつきまして事務局から説明をお願いします。</p>
事務局長	<p>&lt;事務局より説明&gt;</p>
議 長	<p>ただ今のご説明について、何かご意見ご質問はありますでしょうか。</p>
委 員	<p>副会長ではなくて船橋新京成バスの事業者の立場として発言をさせていただきます。</p> <p>国や県の補助の仕組みを使うということにつきまして皆さんに聞いておいていただきたいことがあります。基本的には平成24年度につきましては、補助のあり方も実験の対象にするということによってこれを採用するというものについて異存はないのですが、地域キロ当たり標準経常費用というものは、今回の実験については事業者にとって非常に厳しい数字であるということについてご認識をいただきたいと思っています。と申しますのはこちら千葉県地域キロ当たり標準経常費用ということで、千葉県と一概にいっても房総半島の南のほうの広い国道を時速40キロで1時間に20キロも30キロも走れるバスと、こういった千葉県の北西部の渋滞の中を走るバスとで1時間あたり走れる距離は全然違います。1時間に、地域キロ当たり標準経常費用はたとえば400円くらいだと思のですが、20キロ、30キロ走れるバスですと、8000円とか10,000円とかになるんですが、公共交通実証実験の路線ですと、10キロ程度ですので、そういったことで単価としては非常に安くないというところでこちらの標準費用を用いるということは事業者にとっては非常に厳しい数字であるということをご認識いただきたいと思います。</p> <p>もう一つはコストの関係でございますが、今までは実証実験ということで期限のあるお仕事でしたのでいろいろと工夫ができたのですが、今後につきましては継続的に安定的にということでございますので、こういった工夫がなかなかとりにくくなるという部分がでてきます。たとえば運転手さんですが、今までは期間限定的なお仕事ということでしたのでパートの方ですとか定年再雇用後の有期雇用の方ですとか、そういった方に中心的にやっていただいていたのですが、長期安定的な路線ということになりますと、当社の正規職員の運転手を主力的に導入していくようになりますので、そうしますと長期的にコストのほうはかかるというようなことがでてきます。そういったことが今後生じてくるというところを今のところ聞いておいていただきたいと思います。</p> <p>こういったことで非常に厳しいですよということを聞いておいていただいた上でお願いしたいことといたしましては、私たちといたしましても今後、もっと頑張ってお客さまにもっと乗っていただくように努力していきたいと思っておりますけれども、来年度どうしても苦しくなったという時につきましては、またこの公共交通会議の席で善後策を協議していただきたいと、そういうお願いを私がしておいたということをお聞きになっていただきたいと思います。</p>

議 長	<p>ありがとうございました。 他になにかご意見ご質問はありますでしょうか。</p>
委 員	<p>私はこの会議に毎回出ているわけでございますが、この経過報告、その他、よくわかりました。それで、データを見ますと各地域とも一応努力して目標を全部クリアしているわけですね。一回目の目標はクリアして、二回目もあと二カ月を残して、もうクリアするだろうという状況でございますよね。そういう状況の中で我々としてはこの実証実験を一回目完了して、二回目も続行中ときているわけですが、今日の会議は第三回目というか、来年度どうしようかということで今日は集まっていると思うんですが、たとえば私が丸山地区に属するんですが丸山地区の場合ですとこのデータを見ていただいてもわかりますようにその都度の目標は達成しているわけですね。頑張っここまで来ているわけでございますが、また、来年度も同じような方法でやるといいますと、どこまで同じようなことをやらさせるんだというような声が地元では出ているわけでございます。この実績を見るともうそろそろ別な方法のやり方で、平成24年度はやってみていただいて本格運行に近づくような気持ちの意図も実績もそういう風になるようにしていただきたい。要はここまで目標達成、達成ということできて、なおさら同じようなことを平成24年度もやらなくてはいけないんだろうかということがひとつ、私の質問の内容です。</p> <p>もう一つは、今コストの問題がでておりますが、コストについては、こういうことをやるということが始まった時点においては不便地解消と地域の福祉向上、ということを目指してあるということでございまして、コストの点はそのような二つの目的に向かって良い結果が出るならばやってもらえるというようなことで考えていたわけでございますが、今日現在の状況を見ると目標達成していると思いますので、この辺あまりコストコストというようなことで、結論を先へ先へと持って行かれると住民のほうもちょっとたまったもんじゃ無いという考えを持っております。第5回の会議だったかと思うのですが、もし国の予算がだめになった場合にやめるようであるならば、この会議そのものをやめたらどうだという話をした記憶があるんですよ。それは、国は国、地域は地域で考えるからそこまで心配しないでくれということでその日の会議が進められたわけです。それからの流れがあるので、毎回目標を達成しているわけですから、これ以上あんまりコストコストって言われると考え方がずれちゃうんじゃないかっていうのと、それで一番心配なのは国の予算が今、ご存じのとおりカットカットと来ているわけですからこういうものにはおそらく回ってこないだろうと、その辺について一つ、これからあんまりコストというのは、だいたいクリアしていると思いますので、その辺あんまり表に出さないで初心に戻って、やってもらいたいということが二つ目の質問ということで、よろしくお願いたします。</p>

議 長	<p>ありがとうございました。まとめますと、目標はクリアしているので来年度においては、コストコストと言うなというようなお話だったと思います。一応私といたしましては、お気持ちはわかるのですけれども、総合連携計画に基づいて今回行っているというものでありまして、平成24年度が最終年度ということもございますので、もう一年お付き合いいただく必要があるのかなと思います。</p>
委 員	<p>この事業の担当部長としてお答えいたします。今会長のほうから話がありました通り、三年間実験させていただくというお話で、その通り議会のほうにも答えさせていただいておりますけれども、基本的には来年度は予算的な面でも4月1日から継続運行できるような形で、間のあかない形でやっていこうと思っています。三年間通した実験というと、そこが非常にご不満なのでしょうけど、それは当初計画通り進めさせていただくというお話です。それで市の基本的な考え方として、この交通不便地域解消というのは非常に重要なことだと思っております。幸いにしてすべて数値的な目標はクリアさせていただいておりますので、このまま推移すればなんとか本格運行に移行していきたいという思いは持っています。ただこれは現在のところもう一年やって初めてということで進めていますのでその辺はご理解いただきたい。</p> <p>それから経費的な問題については、これは予算で動いていますので逆に言いますと、今、副会長のほうからも事業者としての立場からお話しありましたけれども、こういう目標を立てているのは地元の方々につきましては、より啓蒙していただいでですね、この数字がキープ、あるいは向上できるような形で働きかけていただきたい。決して予算などでがんじがらめでこれだったら、というような形よりも、むしろもっと前向きにこの事業をどうやったら安定的に継続できるかということと一緒に考えているところなのでご理解いただきたいと思っています。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>やはり事業ですから、どこかにものさしを決めていかなきゃならないだろうというのは私もわかります。それを55%、要するに経費の運賃収入を55%というところにおいたというのわかります。この試算の中で平成23年度の実験をふまえて58%とか75%とか82%、それぞれこういう実績が出ています。これは少なくとも路線運行については、当面目標はクリアしているというふうに理解したいと思います。もう一つ私が注目しているのは、道路が狭くこういった路線運行ができないようなところのデマンドについて非常に注目しているのですが、実証実験が終わっていませんのでそのあとになるのかとは思いますが、この55%というのはデマンドのほうの方式にも、だいたい目安とされるものなんでしょうか。</p>

事務局長	<p>55%という数字が出ておりますけれども、ご説明してきております通りバスに対しての数字となっております。デマンドにつきましては状況が違うと考えておりますので、それにつきましては継続して持続可能なものとしていくための現状の仕組みづくりを検討した上で提案させていただくような形になるかと考えております。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
議長	<p>他に、この仕組みづくりについて何かご意見ご質問はありませんでしょうか</p>
委員	<p>&lt;なし&gt;</p>
議長	<p>それでは整理をいたしますと、事業者の立場ということについてのご意見をいただいたところでございます。</p> <p>また来年度の話とコストの関係のご意見ご質問をいただいたところでございます。</p> <p>デマンドについてのご質問もありまして、持続可能なもので提案という回答があったと思います。</p> <p>こうしたご意見ご質問を踏まえまして、次回までにこの仕組みの案をあらためて作成をいたしまして、また合わせて来年度の運行についての詳細を検討していこうと考えております。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>&lt;意見なし&gt;</p>
議長	<p>どうもありがとうございました。それでは最後でございます。</p> <p>その他のところで、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局長	<p>&lt;事務局より説明&gt;</p>
議長	<p>他にはよろしいでしょうか。</p> <p>よろしければ、これにて第15回目の船橋市地域公共交通活性化協議会を終了とさせていただきます。</p> <p>みなさん本日はありがとうございました。</p>